

10903陶磁器・同関連製品製造業における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2017	11	13～14	軽トラックを使って木製の特売台（長さ180cm×幅90cm×高さ78cm）を自社敷地内の倉庫に保管するために荷台に載せていた特売台の上に乗り、別の特売台を所定の場所に積み上げる作業を行っていた時、特売台の重なりを調節する為に、右足を既に積み上げていた1段目の特売台に掛けようとしたが、足下の十分な確認を行わずに移動した為、その右足を踏み外し、約130cmの高さから地面に落下して右側の肋骨数本と右肩甲骨を骨折してしまった。	53	1	371	50～99
2	2017	10	10～11	内部に堆積した粉塵をバッグフィルター内部に入り、掻き出し棒とスコップで挽除作業を行っていた際に、堆積した粉塵が崩れて埋まった。外部で作業していた者が異変に気づき、点検口から引き出したが、粉を吸って呼吸困難であったため、救急車を要請した。作業中は、ヘルメット・ゴーグル・マスクを着用していた。	47	12	514	30～49
3	2017	10	16～17	当社工場内において、荷造りをしたカートン（30×30×20cm・重さ15kg）を、パレットに積み上げる時パレットに乗った足を踏み外し荷物を持ったまま転倒したその際、左手甲と胸を強打し負傷したもの。	57	2	379	1～9
4	2017	9	9～10	絵付けの作業場で、絵付けの作業をしている時に、棚から品物の乗った板を引き抜こうとした時に、中腰の状態のまま移動したためである。	36	19	921	1～9

5	2017	9	14~ 15	CS管理課、加工グループタイル加工ラインにおいて、タイルが入った箱をローラーコンベアにて左手で手前に移動しようとした時に、力が入りすぎて箱を引っぱった為、加工ラインの壁とタイルが入った箱の間に左手を挟まれ、その際に左第5中手骨を骨折した。	49	7	224	100 ~ 299
6	2017	8	14~ 15	ラインから流れて来た製品を台車に積み込む際、安全のためにボタンを押さないかぎり開放しない仕組みになっているが、操作ミスにより、製品を右足の甲の上に落とした。	52	4	211	50 ~ 99
7	2017	7	5~6	陶磁器製造所の焼成炉工場内で製品の積載作業中に、高温の環境にいたため熱中症の症状が発生した。	29	11	715	10 ~ 29
8	2017	7	7~8	始業前に職場の床をモップで水拭きしていてまだ乾いていない部分に足を置いたため滑って左足首をひねってしまった。	61	2	416	30 ~ 49
9	2017	6	10~ 11	当社工場内において、旋盤で材料の丸棒（鋼）を切削し、その後、表面を滑らかにする為、布のサンドペーパーで磨きをかけていた最中、軍手をはめていた右手が丸棒とペーパーに絡み、右手人差し指を負傷した。	53	7	151	50 ~ 99
10	2017	6	16~ 17	工場内にて、セラミック部品を円筒研削盤にて研磨作業中、専用治具にてワークの脱着を行う際に、ボルトを締めた時に手が滑り、回転している砥石に手が強く当たり、指を深く切ってしまった。	33	8	153	10 ~ 29
11	2017	5	15~ 16	工場内においてタイルの加工作業中、タイル板にタイルを入れ込む時にコンベアーに巻き込まれて左前腕部を負傷した。	37	7	224	10 ~ 29
12	2017	3	13~14	プレス成型後のタイルを吸盤でサヤに積む際に、コンベアーに生タイルを落とした。停止ボタンが目の前にあるにもかかわらず	60	7	224	50 ~

				ず、慌ててボタンを押さずに落ちたタイルを拾うために手を出したところ、右手の指先（薬指）を負傷した。				99
13	2017	3	10~11	出来た製品を1階の作業場に移す時に、途中にある走板の台の端に躓き、バランスを崩し転倒した。そのとき左膝でコンクリートの床で強打し、痛みが増して就業不能となった。	73	2	379	1~9
14	2017	3	16~17	パッド印刷室内で印刷機設定作業中に、印刷台前後駆動操作を自身の右手中指を置いたまま作動してしまった。作動スイッチは固定ロック式ではなくスイッチを離せば停止するようになっていたが、自身がスイッチを押したまま、自身の指が挟まる事を予見できなかった。	43	7	169	50~99
15	2017	2	10~11	工場の産業廃棄物置き場で廃棄物の移動作業中、鉄の板（グレーチング）が右脚の親指に落ちて骨折した。	31	4	521	10~29
16	2017	2	13~14	1号スプレー建屋2号鉄ボールミル（粉砕機）を使って原料を粉砕し、スラリー化する作業後にボールミルの排出口からスラリーを排出しようとしたがスラリー排出（エア圧送）が出来なかった為、エア抜きを行わず排出バルブ内の状態を確認する為に排出バルブを開けた際、内圧の高いミル内部のスラリーが勢いよく噴出し、作業者の両目に入った。	63	4	523	50~99
17	2017	1	12~13	仕上げ場で、ストーブをつけて仕上げ作業をしていた。ストーブは自身の右後ろ側においていたが、昼ごろ右ふくらはぎ部分に違和感を感じたが、特に確認はしなかった。帰宅して確認したところ、腫れて水膨れがひどい状態だった。	33	11	391	50~99
18	2016	11	13~14	陶管の製造加工作業に従事中、製品を載せる為の空の台車を運搬する際、床の凹凸で台車が揺れ、載せていた台がバランスを崩し落下。左足に直撃し負傷した。	24	4	521	50~99
			11~	内ゴテの土のせ作業をしている時に、スピンドルの近辺にノタ土が溜まり、取り除こうとして、手袋をしたまま手を出した為				30

19	2016	10	12	に、スピンドルが上昇した時に手袋が引っかかり、中指をケガした。	50	7	169	～ 49
20	2016	9	10～ 11	窯出しされパレットに積まれた製品を1本ずつ、製品検査のラインへ抱えて移していた。パレット上の洋風便器を中腰で持ち抱えたとき、腰に痛みが走った。	50	19	611	～ 299
21	2016	9	22～ 23	終日出張業務のため、当日の朝、退社時に最終バスに間に合わないと判断して最寄り駅まで自転車を利用した。その自転車で帰宅途中、背中にリュックを背負い作業服の入った手提げ鞆を右手に持ち、その手をハンドルに置いて走行していた。その際、鞆が前輪に挟まり、前輪がロックし、自転車ごと前方に転倒した。	39	17	362	500 ～ 999
22	2016	9	8～9	選別機においてタイルの選別作業を行っていた際、選別機の操作盤のボタンを押そうとして選別機本体を固定しているアンカーボルトの上に左足を乗せたところ、段差によりバランスを崩し左足小指側に重心が傾き、自身の体重が左足小指にかかり負傷した。	28	19	921	30 ～ 49
23	2016	8	9～ 10	棚板に乗った成品をストックラインからリフトに乗せて上に上げ、搬送ラインに送る際、リフトに棚板が入っていたのに上に上がらなかった為、リフトの上の棚板を前後に動かしたら急にリフトが上に上がり、リフトと鉄骨に頭と顔を挟まれた。	49	7	169	50 ～ 99
24	2016	7	11～ 12	工場内にて、空台車が操作ミスにて脱輪してしまい、その復旧作業時に男性従業員8人で台車を持ち上げた時、被災者は腰がグキツとなり、違和感を持ったが、そのまま2回目に少し力を入れた時に、腰椎を捻挫してしまった。	30	19	921	100 ～ 299
25	2016	7	11～ 12	タイル貼り加工所にてタイルを型に嵌め込みシートを貼る作業をしていた際、小型の台車に型を乗せ、自分の作業位置に移動させようとした時、コンクリートの床の小さな溝に台車の車輪	70	2	362	50 ～ 99

				が引っ掛かり、倒れる台車を支えようとして転倒負傷した。				
26	2016	4	16～ 17	交差点で左折する為、交差点手前で停車していたところ、2台後方の車両が停車中の1台後方の車両に衝突した。その衝撃で、1台後方の車両が前進し、後部に衝突した。	44	17	231	30 ～ 49
27	2016	4	14～ 15	工場にて作業中、台車降ろし機の読み取り異常が発生したため、ラインを停止し、異常個所を直すため、ラインの反対側へ行くため足場を使いキャタピラを越え降りる際、足場を踏み外してしまい、右足に全体重がかかり骨折した。	25	1	169	100 ～ 299
28	2016	3	14～ 15	工場内にて半自動加工プレス機の型に残った残土の清掃時、通常は下降シリンダーの安全装置の電源をオンの状態で作業することを徹底しているが、下降シリンダーの安全装置の電源がオフになっている事に気づかず作業をしてしまい、誤って下降スイッチに手があたり、下降シリンダーが下降したため指を挟み負傷した。	67	7	164	30 ～ 49
29	2016	3	16～ 17	製品を集配中、通常の製品の置場所が客の車で満杯のため、上の事務所前に車を止め、製品入のサンテナを抱えて運び中、サンテナで目先がきかないため、足元の道路の急斜面に気付かず、しかも雨後で道路が濡れていたこともあって、足がすべり転倒した際、左足首部を捻り骨折した。	55	2	417	50 ～ 99
30	2016	2	9～ 10	設備搬出作業を監督中、設備制御盤の床止めが外されているか確認しようとした。少し前まで設備本体が置かれていた場所を通ったところ、足を滑らせ転倒し手をつく間もなく右顔面を床に強打した。	48	2	416	100 ～ 299
31	2016	2	14～ 15	泥しょうをフィルターで搾り素地をつくる設備の傍らで水道ホースを右手で持ち、漏れた泥しょうを洗い流している時に他の作業者が積載機を修理しようとリフトで持ち上げたところ、積載機が前方に動き積載機のフレームが被災者の右手親指に当たった。	45	6	222	500 ～ 999

39	2015	9	8～9	窯から出た台車を窯起こしラインへ入れる時レール横鉄板の溶接接合部が取れて板がはずれ鉄板につまずいて転倒した結果ひじを強打した。	56	2	521	50 ～ 99
40	2015	8	10～ 11	工場作業場内において、原料である土を乗せた台車を移動していた際、待機中であった、土が乗った台車に右手をはさみ負傷した。	57	7	362	30 ～ 49
41	2015	7	20～ 21	焼成炉上にてダクト内の掃除作業を行っていた。ダクトの硫安抜きノズルが固化しており、トーチ（ハンディバーナー）にて熱しようとしたところ、発火したように感じて、その場を離れようとして高さ1.5mの炉上より転落。転落した際、右ひざより転倒し、顔面を殴打した。	52	1	391	50 ～ 99
42	2015	7	9～ 10	製品研磨作業時に、研磨機内のある製品の位置を直そうと、自動研磨の停止ボタンを押さずに機械内に手を入れた為、左手を機械の固定枠と移動機の間の手を挟まれた。	43	7	169	10 ～ 29
43	2015	7	8～9	工場内で茶碗の自動成型ラインに従事していた際、成型時にでる不要な粘土が型に付着したので、自動成型機を停止せず、素手で取り除こうとしたところ、回転する型に右手が挟まれてしまい、右手中指を骨折し、成型機のカッターで右掌を切ってしまった。	56	7	169	10 ～ 29
44	2015	6	9～ 10	原料が載ったハンドリフトを後ろ向きに運搬していた所、ハンドリフトのタイヤに自身の右足かかと付近に接触させた。	40	7	229	10 ～ 29
45	2015	6	16～ 17	焼き上がった陶器のほこり、砂を取り除く機械で作業中、機械の中（回転ブラシ下作業台部）に落ちている陶器の破片を捨おうとした所、はめていた手袋が機械の回転軸部に引っ掛かり、そのまま右手が巻き込まれた。	34	7	169	30 ～ 49
				人造大理石生産工程内の柄付装置（生産設備）に付属されているステンレスベルト及び送りローラーを清掃していた。清掃方				

46	2015	5	11～ 12	法は溶剤を含んだウエスにて通常はベルトを停止させた状態で拭く手順となっていたが、ルールを破り連続回転させたままの状態で行い、結果右手をローラーとベルトの間に挟まれ受傷した。	22	7	121	10 ～ 29
47	2015	5	16～ 17	ネット貼り用ボンドを使用し、綿手袋とゴム手袋をはめ裏ネット貼り作業をしていたところ、ボンドが染みてきて、両手の親指以外が火傷、水膨れ状態となった。	48	11	529	1～ 9
48	2015	5	12～ 13	機械で製品のカットをしている際、左手で端材を取り除こうとした時、惰性で回っていた機械の刃が左手に当たり負傷した。	30	8	159	10 ～ 29
49	2015	4	16～ 17	陶磁器成型工場で自動成型機で作業中に機械（スピンドルモーター）の上に成型のクズが落ちていたので、自動成型中に停止ボタンを入れずにとろうとしてモーターと機械の1cmぐらいのすき間に手を入れてはさんでしまった。	34	7	169	50 ～ 99
50	2015	3	10～ 11	手洗い場付近の清掃中、手洗い場横の台座の上に置いてある2台の冷蔵庫の上部を拭くため台座に登り左側冷蔵庫に手を掛け、拭き掃除をしていたところ、左冷蔵庫が動き左足が台座から落ち、また無理な体勢で冷蔵庫を手で押し戻したため、落ちた左足踝部に痛みが起き負傷した。	36	1	371	100 ～ 299
51	2015	2	17～ 18	就業後、帰宅準備のため敷地内の別棟へ向う時、大変寒く地面が凍結し、うっすら雪も積もっており大変滑りやすくなっていた。滑って転倒したさい、右手をついて骨折した。	53	2	417	1～ 9
52	2014	12	14～ 15	工場内にてろくろ成形をしている時、窯の火を止める時間となり、急いで別室の窯場に行こうと立ち上がり向かった際、足元にあった延長コードに足が引っ掛かり、体が浮き上がり、コンクリートの床に転倒しそうになり、とっさに手を出し転倒した際に負傷した。	34	2	379	50 ～ 99

53	2014	11	18～ 19	ラインの上にタイルを流す作業を行っていた時に流れてきたタイルの個数が少なく、次回の分と合わせようとラインの上よりパレットごと引き抜こうとした時に、パレットがラインに引っかかり慌てている間にプレスで左手小指を挟んだ。	66	7	154	50 ～ 99
54	2014	11	16～ 17	焼成炉周囲を温度記録管理の巡回中、焼成炉台車のレール部上に乗り左足首を捻った。	49	19	419	500 ～ 999
55	2014	10	8～9	会社工場1階エレベーター近くにおいて、鍋ののった台車を窯場へ押していくときに、誤って台車の車輪が左足小指に接触し負傷した。	56	3	362	10 ～ 29
56	2014	10	9～ 10	成形部内において自動成型機を稼働中、スピンドルの上に残った成型後の残土を取り除こうとし、うっかり機械を停止せず型の乗っているモールドコンベアーのリングと下から突き上げるスピンドルの間に右手を挟まれて受傷した。	23	7	224	30 ～ 49
57	2014	10	11～ 12	工場内にて縦に積み上げられたタイル入りのサヤを機械に挟んで移動する作業を行っていた際、サヤを移動していた時に誤って機械の開閉スイッチに触れてしまい、サヤの落下を防ごうと咄嗟に左手でサヤを受けとめたところ、落下するサヤと機械の開閉板との間に左指を挟み負傷した。	20	7	169	30 ～ 49
58	2014	9	15～ 16	工場内自動成形機にて、一時停止ボタンを押し忘れ、モールドリンクの周りに飛散していたノタを右手木ベラで除去中、何気なく機械に触れていた左手薬指の先が回転作業中のモールドリンクとの隙間に入り、指尖部を負傷した。	31	7	169	50 ～ 99
59	2014	8	14～ 15	高さ3mほどのシーサーのオブジェのイカタ造りのため砂をスコップで掘っていた時腰を痛めた。	60	19	921	10 ～ 29
60	2014	8	16～	事務所横通路で勤務終了後帰宅途中に走っているときアサガオのネットに引っかかり転倒して右ひじを骨折した転倒して右ひ	41	2	529	30 ～

			17	じを骨折した転倒して右ひじを骨折した。				49
61	2014	8	16～ 17	窯出口において台車上の製品を冷却するため、手前に引っ張りながら移動中、台車のアタッチ部に左足先端内側部分が挟まれバランスを崩して転倒、そのはずみで左足親指先端を圧迫し被災した。	38	7	362	50 ～ 99
62	2014	7	18～ 19	工場内でタイルの梱包作業を行っている際、フォークリフトのパレットに積まれたタイルが入った梱包材料のケースを作業台に運ぼうと持ち上げたところ、パレットの隙間に足を挟んで左足を骨折した。	70	7	379	50 ～ 99
63	2014	7	11～ 12	トンネルキルン出口付近で、窯出し試験品を降ろし運搬中に、台車とトラバーサ本体が通る間にある移動経路から右足を踏み外し、同時に焼成担当者が線路切り替えの操作を行い、トラバーサが走行しており、トラバーサとピットに右足が挟まり圧迫され負傷した。	40	7	223	100 ～ 299
64	2014	7	15～ 16	工場汚水処理施設にて、排水のph調整のための希硫酸を送るホースが通常より熱くなっていたため、目視で観察していた。急にホースの留め具が外れホースが抜け、希硫酸が噴出して左目に入り負傷した。	61	4	514	30 ～ 49
65	2014	6	13～ 14	焼成炉にて、搬送ローラーの回転状態を確認していた。焼成炉内の搬送トラブルで状態確認においてギヤを直接手に持ち負荷の掛かり具合を確認していた。確認作業中にギヤ部分に親指が掛かっていることに気付かず確認箇所から目を離れた際にギヤとチェーンに挟まれ右手親指第一関節から切断した。	38	7	121	100 ～ 299
66	2014	5	17～ 18	帰宅途中、工場内で転倒、左ひざを骨折した。	53	2	417	10 ～ 29
			11～	自動成形機で作業中、製品を作るための土が型の外に落ちたた				1～

67	2014	5	12	め、取り除こうと機械を止めずに手を入れたところ、型と型の間に指を挟んだ。	82	7	169	9
68	2014	4	15～ 16	製陶部工場窯起し場にてローラーラインで製品の入ったエンゴロをベニヤ敷板に積み上げローラー上を移動させた時、本来手を置くべきところではないローラーの隙間に左手を入れて積み上げたエンゴロを自分で横に移動させた際にローラーと敷板に左手中指先を挟まれて負傷した。	53	7	224	100 ～ 299
69	2014	3	14～ 15	事業所工場内において、両側が安全柵に挟まれた幅150.8cm程度の通路を施釉から成形へ鉄台車に（120.3cm×136×193、重さ500kg程度）タイルを積んで押していたところ、左の安全柵に当たった台車を軌道修正しようと右に振ったところ、後輪が回転してバランスが崩れ、台車と安全柵の間（15cm程）に右手が挟まり負傷した。	65	7	362	50 ～ 99
70	2014	3	17～ 18	役物焼成、窯出口にて、焼き上がった製品を取り出して積み上げている作業者と打ち合わせしている時、タイル破片が右目に当たって負傷した。	21	4	529	30 ～ 49
71	2014	2	15～ 16	製品置場から製品パレット（約250k）をハンドリフトでラインへ運搬中に、少しよろめいて右足を着地したら足首を捻挫した。	19	19	921	10 ～ 29
72	2014	2	11～ 12	自動梱包機で梱包作業中、梱包機のテープが絡まった為、手袋を外して絡まりを直そうとテープを引っ張った際、テープカッター部分で指を切った。	41	8	169	50 ～ 99
73	2014	2	8～9	成形作業中、石膏型とローラー鋺が動作中にもかかわらず、右手を伸ばし入れ鋺の異物を取ろうとしたため、型と鋺の間に右手中指を挟んだ。	21	7	169	50 ～ 99
74	2014	1	15～ 16	工場建物内コア作業室前にて、リフトを止めて降りる際に、足を滑らせて腰部を強打した。	49	1	222	10 ～ 29

75	2014	1	14～ 15	工場プレス投入用の原料搬送コンベアのテールローラーが破損したため、電源を切って交換。その後、コンベアの蛇行調整のため手動操作にてコンベアを駆動させた状態で調整していたところ、左手をベルトに巻き込まれ負傷した。	39	7	224	100 ～ 299
76	2014	1	9～ 10	構内廃棄物一時置場において、廃棄物処理のため、廃フレコンバッグの束を積み込んでいたところ、廃棄物でいっぱいになったコンテナ上に乗り、リフトで持ち上げたパレット上の廃フレコンバッグをコンテナ上に引きずり入れようと廃フレコンバッグを中腰で引っ張った時、腰に痛みを感じた。	62	19	611	100 ～ 299
77	2013	12	11～ 12	幅0.6m×長さ3.5mの台車を3人で押し移動中、一人だけ立ち止まったため、台車後輪に足の小指を轆かれ、骨折した（安全靴は着用していたが、小指まではカバーできていなかった）。	44	7	362	10 ～ 29
78	2013	12	11～ 12	洗浄ブラシのベアリングとローラーチェーンベルトを交換中、機械を停止させて作業するべきところ、停止させずに行ったため、軍手が巻き込まれ、慌てて引き抜こうとしたところ、機械の一部で手の平から人差指にかけて切った。	46	7	224	30 ～ 49
79	2013	11	9～ 10	原料搬送平ベルトを運行中のまま掃除した際、搬送ベルト横にこぼれた原料を拭いとろうとしたところ、掃除用ノズルが引っかかっていた為、外そうと誤って搬送ベルトとプーリーの間に腕を挟まれた。	31	7	224	100 ～ 299
80	2013	9	0～1	粉じん作業である陶磁器の製造を40年超の期間従事していた為、じん肺と診断された。	44	12	519	1～ 9
81	2013	8	16～ 17	コンベアの清掃中、コンベアとコンベアの間指を挟まれ、手中指を挫創した。	49	7	224	1～ 9
82	2013	7	8～9	成形機より出る坏土が成形機の上下駆動部上部に溜まった為、上下運動している成形機上昇用モーターカバーとモールドレールの中に成形機を停止せず手を入れ、除こうとしたところ、手	65	7	169	100 ～ 299

				首を成形機をレールに挟まれた。				
83	2013	7	10～ 11	自動で流れるコンベアーを跨ぎ、選別台に上がろうとした際、足を滑らせ、転倒。脇腹を負傷した。	45	1	417	30 ～ 49
84	2013	4	11～ 12	土練機を修理中、約6kgあるスクリュウ型の羽根を交換中、手が滑り、羽根を落としそうになり、拾い上げようとしたところ、土練機と羽根の間に中指を挟んだ。	62	4	129	30 ～ 49
85	2013	4	10～ 11	倉庫の裏の扉を開け外に出ようとした際、身体のバランスを崩した。体勢を立て直そうと足を踏み出したところ、通路、段差部分に足が乗り、転倒。腕を骨折した。	39	2	417	50 ～ 99
86	2013	2	14～ 15	ロクロ台に上がろうと木製の台に足を乗せた為、転倒。手を床につき、手首を骨折した。	56	2	379	1～ 9
87	2013	2	17～ 18	帰宅中、事務所の前に置いてあるパレットに暗かった為、躓き、転倒した。	62	2	379	30 ～ 49
88	2013	1	12～ 13	流込作業場にて、攪拌機に土を投入する作業の際、土入りのコンテナを肩の高さまで持ち上げ、土を攪拌機に投入しようと攪拌機の淵に乗せようとしたところ、コンテナが滑り、落下。足の指に落ちた。	44	4	611	100 ～ 299
89	2013	1	17～ 18	プレスラインで作業中、プレス機の油圧ホースが破れ、油の噴出を発見した為、プレスを停止させようと操作盤に向ったところ、床面に飛散した油に足を滑らせ、転倒。足首を骨折した。	36	2	416	30 ～ 49
90	2013	1	14～ 15	パックタイル加工中、誤って作業台からテープ取付用芯棒を足甲の上に落とし、負傷した。	53	4	521	30 ～ 49
91	2012	12	13～ 14	工場内にて、製品の入ったカゴを台車に乗せて移動中、誤って、足に車輪が乗り上げ、負傷した。	43	7	362	1～ 9

92	2012	12	10～ 11	生素地をボックスに納め、所定の位置へ運ぼうと立ち上がり歩こうとした際、足元に躓き、転倒し、肩、肘、足を強打した。	55	2	417	1～ 9
93	2012	10	9～ 10	円筒研削盤への製品セット作業にて、重さ約15kgの製品をチャックにセットしようとした際、胸背部に痛みを感じ、作業を継続することが出来なかった。	24	19	921	500 ～ 999
94	2012	10	13～ 14	製工工場にて、フィルタープレスからケーキ状の原料を自動で取出している際、濾盤からはみだした土を取ろうとして動いている機械の中に手を入れたところ、濾盤を固定するつめが戻り、肘から先が機械に挟まり負傷した。	42	7	169	100 ～ 299
95	2012	10	11～ 12	タイル製造工場内で選別を終えた製品の入ったポリ箱をパレットに載せた後、手には何も持たない状態で選別作業定位置に戻る際、パレットの角に足を引っ掛け転倒した。その際、手を地面に突き手首を骨折した。	47	2	417	50 ～ 99
96	2012	8	11～ 12	事務所棟より工場棟へ移動中、外階段の柱へ足をひっかけ、転倒。金属製の消火器箱の角で顔面をぶつけ、負傷した。	28	2	413	30 ～ 49
97	2012	7	11～ 12	プラスチック製品の仕掛品を台車で運び、パレットの上に移動する作業を終え、パレットの上から降り、床面に足を着けようとしたところ、止めてあった手押し台車の角に脛をぶつけた。	46	3	362	不 明
98	2012	7	17～ 18	ベルトコンベアのスイッチを切りに行き、気分が悪く体がふらつき、近くの柵を手でにぎり、肩を脱臼した。	39	19	921	50 ～ 99
99	2012	7	7～8	製品ストッカーの動きが悪かった為、エアの調整をしていた際、機械を停止せず、機械内部に頭まで入れた状態で手を突っ込み作業をしたところ、アームとレールに頭部を挟まれ、負傷した。	67	7	169	50 ～ 99
				誤作動を起こした全自動ケーキパレタイザーの上に登り、パレ				100

100	2012	7	8~9	タイザーの上にあるスイッチを押した。スイッチを押すとパレタイザー上の横に動くアームが早い速度で元に戻る為、接触しないよう体を避けたが、足が避けきれず、脛を強打した。	54	6	169	~ 299
-----	------	---	-----	--	----	---	-----	----------

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例 \(-2017年\)](#)に戻る。